

2025.11 せとまちトーク フリーテーマの意見分析（案）

1 「理想のまち」の主な分類と傾向

参加した市民が目指す「理想の瀬戸市」は下記の7つに分類できます。

分類テーマ	概要（主な意見）	割合（件）
1. 交通・インフラ	公共交通（バス、電車）の充実、道路整備、駐車場、安全な通学路の確保など、移動や生活基盤に関する意見。	28% (28件)
2. まちの魅力・集客	観光資源（やきもの、自然）の活用、賑わい創出、地域ブランド力の向上、瀬戸らしさの維持など、市外へのアピールや集客に関する意見。	23% (23件)
3. 子育て・教育・福祉	子育てしやすい環境、教育の充実、福祉施設の整備、世代間交流など、子どもや高齢者を含む市民生活のサポートに関する意見。	17% (17件)
4. 生活環境・安全	治安、防災、医療、公共施設の維持、ゴミ処理、景観保護など、市民が安心して暮らせる環境に関する意見。	16% (16件)
5. 働き方・産業	企業の誘致、雇用機会の創出、産業（特に窯業）の活性化、若者の定着支援など、経済活動や仕事に関する意見。	8% (8件)
6. 文化・スポーツ	文化施設、スポーツ施設（特に体育館）の整備・活用、文化活動への参加機会の充実に関する意見。	6% (6件)
7. その他	特定のテーマに分類しにくい、または抽象的な意見（例：住みやすいまち、元気なまち）	2% (2件)

<分析結果のポイント>

最も多かった意見は、「1. 交通・インフラ」と「2. まちの魅力・集客」であり、理想の実現には「移動の利便性向上」と「地域を活性化させるための魅力づくり」が重要視されていることが分かります。

2 理想実現の妨げとなる主な課題（不便・困りごと）

市民が最も強く感じている不便や困りごとを、件数の多い順に 5 つの主要な課題として分類しました。

課題分類	概要（具体的な不便の内容）	常任委員会
1. 公共交通の不便	バスの路線・本数・運行時間の不足、特に中心地と郊外の接続の悪さ、鉄道駅までのアクセス困難、高齢者の移動手段の不足。	厚生 都活
2. 商業・集客力の低下	活気がない、大型商業施設や遊ぶ場所の不足、空き店舗の増加、駅周辺の魅力不足。特に若者向けの施設の不足。	厚生 都活
3. 公共施設・インフラの老朽化・不足	体育館や運動施設の老朽化や不足、図書館など文化施設の不便さ、道路や橋の整備の遅れ、駐車場の不足。	総務 厚生 都活
4. 子育て・教育環境	児童館がない、保育園の待機、子育て支援情報の不足、学校施設の老朽化や体育館へのエアコン設置の遅れ。	総務 厚生
5. 医療・福祉の不足	病院・診療所の不足（特に専門医）、高齢者の孤立や支援の不足、障がい者への配慮不足。	厚生

＜分析結果のまとめ＞

- 最大の課題は「交通」**： 理想のテーマでもトップでしたが、不便な点としても「公共交通の不便さ」が圧倒的に多く（3 分の 1 以上）、市民の生活の足が最優先の課題であることが明確になりました。
- 若年層の流出懸念：商業・集客力の低下**の意見には、「活気がない」「若者が楽しめる場所がない」といった指摘が多く、市の将来的な活力を維持するための喫緊の課題であることが示唆されます。